



平成 21 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 **フタバ産業株式会社**
代表者名 代表取締役 伊藤 舜朗
コード番号 7241 東証・名証第1部
お問合せ先 常務取締役 石川 眞澄
TEL (0564) 31-2211

(訂正) 「平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成21年5月14日付「平成21年3月期決算発表の延期のお知らせ」において過年度決算の訂正の可能性についてお知らせいたしました。このたび、過年度決算の具体的な訂正内容が確定いたしましたので、下記のとおりご報告申し上げます。

なお、訂正箇所を含む頁について訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

ただし、前年同期の四半期情報の精査が完了しておりませんので、前年同期の数値の訂正は行っておりません。このため、前年同期比較数値につきましては「—」表示しております。

記

1. 訂正を行う第 2 四半期決算短信の概要

決算期：平成 21 年 3 月期第 2 四半期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

公表日：平成 20 年 12 月 25 日

2. 訂正の経緯

訂正の経緯については、平成21年5月14日付「平成21年3月期決算発表の延期のお知らせ」、及び、「株式会社ビジネスデザイン研究所に対する不正な金融支援および特別調査委員会の調査結果報告につきまして」をご参照下さい。

以 上

【訂正前】 (過年度決算短信1ページ)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期 第2四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|----------------|------|---------------|------|---------------|-------|---------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第2四半期 | 221,921 | — | <u>△1,672</u> | — | <u>△2,897</u> | — | <u>△9,096</u> | — |
| 20年3月期第2四半期 | <u>217,545</u> | 21.3 | <u>2,324</u> | 42.8 | <u>1,711</u> | △17.9 | <u>△5,064</u> | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|----------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第2四半期 | <u>△130.03</u> | — |
| 20年3月期第2四半期 | <u>△72.43</u> | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|----------------|---------------|-------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第2四半期 | <u>323,706</u> | <u>83,744</u> | <u>22.2</u> | <u>1,208.06</u> |
| 20年3月期 | <u>322,695</u> | <u>96,212</u> | <u>26.4</u> | <u>1,217.77</u> |

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 71,923百万円 20年3月期 85,199百万円

【訂正後】

1. 平成21年3月期 第2四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|----------------|------|--------------|------|---------------|-------|---------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第2四半期 | 221,921 | — | <u>△624</u> | — | <u>△2,285</u> | — | <u>△8,447</u> | — |
| 20年3月期第2四半期 | <u>218,205</u> | 21.3 | <u>2,312</u> | 42.8 | <u>1,565</u> | △17.9 | <u>△5,205</u> | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|----------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第2四半期 | <u>△120.74</u> | <u>△109.71</u> |
| 20年3月期第2四半期 | <u>△74.44</u> | <u>△67.60</u> |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|----------------|---------------|-------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第2四半期 | <u>323,025</u> | <u>82,401</u> | <u>21.8</u> | <u>1,008.86</u> |
| 20年3月期 | <u>322,103</u> | <u>94,219</u> | <u>25.8</u> | <u>1,189.28</u> |

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 70,580百万円 20年3月期 83,206百万円

【訂正前】 (過年度決算短信 2 ページ)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の低迷、原材料価格高騰によるコスト増加を主因として、企業収益は急速に落込み、企業の景況感は大幅に悪化しました。景気の牽引役の一翼を担っていた輸出は欧米景気の低迷から伸びは鈍化しました。また、インフレ進行などから消費者心理は悪化し、個人消費は引き続き弱含みとなりました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましても、景気低迷やガソリン価格の高止まりの影響を受け、低調な推移となりました。自動車の国内販売は前年同期比減少したものの、輸出が比較的堅調に推移したことから、国内生産は前年同期比増加しましたが、米国、英国などの生産は減少し、中国など新興国でも減速感が出始めました。

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、増収を背景として利益を確保すべく、全社をあげて原価低減、経費節減、業務効率向上に取り組んでまいりましたが、お得意先各社の原価低減活動、原材料価格の高騰などの影響から、低迷状態から脱しきれおりません。その状況は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

当第 2 四半期連結累計期間における売上高は、円高による目減りや欧米での生産減少はあったものの国内生産が堅調であったことから増加し、2,219 億円(前年同期比 2.0%増)となりました。

事業の種類別売上は、自動車等車両部品事業が 2,132 億円、情報環境機器部品事業が 87 億円となりました。

所在地別売上は、日本が 1,595 億円、北米が 261 億円、欧州が 266 億円、アジアが 211 億円となりました。

(2) 営業利益

営業利益は、国内の不振を反映し、16億円の損失(前年同期は22億円の営業利益)となりました。

事業の種類別の営業利益は、自動車等車両部品事業が20億円の営業損失、情報環境機器部品事業が 3 億円の営業利益となりました。

所在地別の営業利益は、日本が59億円の営業損失、北米が 6 億円、欧州が 10 億円、アジアが 24 億円の営業利益となりました。

(3) 経常利益

経常利益は、為替差損や支払利息の増加などがあり、28億円の損失(前年同期は17億円の経常利益)となりました。

(4) 四半期純利益

四半期純利益は、固定資産減損や少数株主利益の増加などがあり、90億円の損失(前年同期は50億円の損失)となりました。

(5) 配当

過年度決算訂正が有形固定資産の減損にまで及んだことから連続欠損状態となりましたが、あくまで予定と異なるものの、配当につきましては、株主様のご期待も大きいものがございまして、中間配当は予定通り 15 円とさせていただきます。

なお、業界動向が極めて不透明で今後の業績の方向が見通しづらい情勢にあると言わざるを得ません。このため、期末配当につきましては、現時点で予定することができませんので未定とさせていただきます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産については、固定資産の減損や保有有価証券の価格変動などもありましたが、有形固定資産の増加などから、3,237億円(前連結会計年度末比10億円増)となりました。

(2) 負債

当第 2 四半期連結会計期間末における負債合計は、短期借入金増加を主因に2,399億円(前連結会計年度末比134億円増)となりました。

(3) 純資産

当第 2 四半期連結会計期間末における純利益は、四半期純損失を計上したことから、純資産合計は837億円(前連結会計年度末比124億円減)となりました。

【訂正後】 (過年度決算短信2ページ)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の低迷、原材料価格高騰によるコスト増加を主因として、企業収益は急速に落込み、企業の景況感は大幅に悪化しました。景気の牽引役の一翼を担っていた輸出は欧米景気の低迷から伸びは鈍化しました。また、インフレ進行などから消費者心理は悪化し、個人消費は引き続き弱含みとなりました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましても、景気低迷やガソリン価格の高止まりの影響を受け、低調な推移となりました。自動車の国内販売は前年同期比減少したものの、輸出が比較的堅調に推移したことから、国内生産は前年同期比増加しましたが、米国、英国などの生産は減少し、中国など新興国でも減速感が出始めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、増収を背景として利益を確保すべく、全社をあげて原価低減、経費節減、業務効率向上に取り組んでまいりましたが、お得意先各社の原価低減活動、原材料価格の高騰などの影響から、低迷状態から脱しきれておりません。その状況は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

当第2四半期連結累計期間における売上高は、円高による目減りや欧米での生産減少はあったものの国内生産が堅調であったことから増加し、2,219億円(前年同期比2.0%増)となりました。

事業の種類別売上は、自動車等車両部品事業が2,132億円、情報環境機器部品事業が87億円となりました。

所在地別売上は、日本が1,595億円、北米が261億円、欧州が266億円、アジアが211億円となりました。

(2) 営業利益

営業利益は、国内の不振を反映し、6億円の損失(前年同期は23億円の営業利益)となりました。

事業の種類別の営業利益は、自動車等車両部品事業が9億円の営業損失、情報環境機器部品事業が3億円の営業利益となりました。

所在地別の営業利益は、日本が48億円の営業損失、北米が6億円、欧州が10億円、アジアが24億円の営業利益となりました。

(3) 経常利益

経常利益は、為替差損や支払利息の増加などがあり、22億円の損失(前年同期は15億円の経常利益)となりました。

(4) 四半期純利益

四半期純利益は、固定資産減損や少数株主利益の増加などがあり、84億円の損失(前年同期は52億円の損失)となりました。

(5) 配当

過年度決算訂正が有形固定資産の減損にまで及んだことから連続欠損状態となりましたが、あくまで予定と異なるものの、配当につきましては、株主様のご期待も大きいものがございまして、従いまして、中間配当は予定通り15円とさせていただきます。

なお、業界動向が極めて不透明で今後の業績の方向が見通しづらい情勢にあると言わざるを得ません。このため、期末配当につきましては、現時点で予定することができませんので未定とさせていただきます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、固定資産の減損や保有有価証券の価格変動などもありましたが、有形固定資産の増加などから、3,230億円(前連結会計年度末比9億円増)となりました。

(2) 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、短期借入金増加を主因に2,406億円(前連結会計年度末比128億円増)となりました。

(3) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純利益は、四半期純損失を計上したことから、純資産合計は824億円(前連結会計年度末比225億円減)となりました。

【訂正前】 (過年度決算短信5ページ)

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,151 | 13,918 |
| 受取手形及び売掛金 | 68,059 | 68,860 |
| 製品 | 4,064 | 4,527 |
| 仕掛品 | 19,024 | 21,124 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,615 | 3,199 |
| 繰延税金資産 | 195 | 181 |
| その他 | <u>10,646</u> | <u>9,902</u> |
| 貸倒引当金 | △27 | △22 |
| 流動資産合計 | <u>118,730</u> | <u>121,690</u> |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 31,285 | 31,375 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | <u>81,574</u> | <u>81,947</u> |
| 工具器具備品(純額) | 16,689 | 17,809 |
| 土地 | 15,183 | 14,832 |
| 建設仮勘定 | 33,849 | 26,928 |
| 有形固定資産合計 | <u>33,849</u> | <u>172,893</u> |
| 無形固定資産 | 485 | 507 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,721 | <u>23,705</u> |
| 繰延税金資産 | <u>791</u> | <u>444</u> |
| その他 | <u>4,434</u> | <u>4,121</u> |
| 貸倒引当金 | △39 | △36 |
| 投資その他の資産合計 | <u>25,908</u> | <u>27,603</u> |
| 固定資産合計 | <u>204,975</u> | <u>201,004</u> |
| 資産合計 | <u>323,706</u> | <u>322,695</u> |

【訂正後】 (過年度決算短信5ページ)

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,151 | 13,918 |
| 受取手形及び売掛金 | 68,059 | 68,860 |
| 製品 | 4,064 | 4,527 |
| 仕掛品 | 19,024 | 21,124 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,615 | 3,199 |
| 繰延税金資産 | 195 | 181 |
| その他 | <u>10,451</u> | <u>9,707</u> |
| 貸倒引当金 | △27 | △22 |
| 流動資産合計 | <u>118,535</u> | <u>121,495</u> |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 31,285 | 31,375 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | <u>81,637</u> | <u>82,018</u> |
| 工具器具備品(純額) | 16,689 | 17,809 |
| 土地 | 15,183 | 14,832 |
| 建設仮勘定 | 33,849 | 26,928 |
| 有形固定資産合計 | <u>178,644</u> | <u>172,965</u> |
| 無形固定資産 | 485 | 507 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,721 | <u>23,075</u> |
| 繰延税金資産 | <u>766</u> | <u>415</u> |
| その他 | <u>3,910</u> | <u>3,681</u> |
| 貸倒引当金 | △39 | △36 |
| 投資その他の資産合計 | <u>25,359</u> | <u>27,135</u> |
| 固定資産合計 | <u>204,490</u> | <u>200,607</u> |
| 資産合計 | <u>323,025</u> | <u>322,103</u> |

[訂正前] (過年度決算短信6ページ)

(単位:百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 63,709 | 67,977 |
| 短期借入金 | 64,781 | 36,248 |
| 1年内返済予定長期借入金 | 4,290 | 3,418 |
| 1年内償還予定の社債 | 14,722 | 10,000 |
| 未払法人税等 | 89 | 3,971 |
| 役員賞与引当金 | 1 | 100 |
| その他 | <u>26,005</u> | <u>25,978</u> |
| 流動負債合計 | <u>173,599</u> | <u>147,696</u> |
| 固定負債 | | |
| 新株予約権付社債 | — | 14,722 |
| 長期借入金 | 45,378 | 42,911 |
| 繰延税金負債 | <u>11,716</u> | <u>11,773</u> |
| 退職給付引当金 | 8,506 | 8,409 |
| 役員退職慰労引当金 | 260 | 257 |
| 負ののれん | 45 | 91 |
| その他 | <u>453</u> | <u>620</u> |
| 固定負債合計 | <u>66,362</u> | <u>78,787</u> |
| 負債合計 | <u>239,961</u> | <u>226,483</u> |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,820 | 11,820 |
| 資本剰余金 | 13,322 | 13,321 |
| 利益剰余金 | <u>39,383</u> | <u>50,297</u> |
| 自己株式 | <u>△14</u> | △139 |
| 株主資本合計 | <u>64,380</u> | <u>75,299</u> |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,553 | 7,935 |
| 為替換算調整勘定 | 989 | 1,963 |
| 評価・換算差額等合計 | <u>7,543</u> | <u>9,899</u> |
| 少数株主持分 | 11,820 | 11,013 |
| 純資産合計 | <u>83,744</u> | <u>96,212</u> |
| 負債純資産合計 | <u>323,706</u> | <u>322,695</u> |

[訂正後] (過年度決算短信 6 ページ)

(単位：百万円)

| | 当第 2 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日) |
|--------------|---------------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 63,709 | 67,977 |
| 短期借入金 | 64,781 | 36,248 |
| 1年内返済予定長期借入金 | 4,290 | 3,418 |
| 1年内償還予定の社債 | 14,722 | 10,000 |
| 未払法人税等 | 89 | 3,971 |
| 役員賞与引当金 | 1 | 100 |
| その他 | <u>26,078</u> | <u>25,996</u> |
| 流動負債合計 | <u>173,672</u> | <u>147,712</u> |
| 固定負債 | | |
| 新株予約権付社債 | — | 14,722 |
| 長期借入金 | 45,378 | 42,911 |
| 繰延税金負債 | <u>11,508</u> | <u>11,598</u> |
| 退職給付引当金 | 8,506 | 8,409 |
| 役員退職慰労引当金 | 260 | 257 |
| 負ののれん | 45 | 91 |
| その他 | <u>1,251</u> | <u>2,180</u> |
| 固定負債合計 | <u>66,951</u> | <u>80,172</u> |
| 負債合計 | <u>240,624</u> | <u>227,884</u> |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,820 | 11,820 |
| 資本剰余金 | 13,322 | 13,321 |
| 利益剰余金 | <u>38,040</u> | <u>48,304</u> |
| 自己株式 | <u>△145</u> | △139 |
| 株主資本合計 | <u>63,037</u> | <u>73,307</u> |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,553 | 7,935 |
| 為替換算調整勘定 | 989 | 1,963 |
| 評価・換算差額等合計 | <u>7,543</u> | <u>9,899</u> |
| 少数株主持分 | 11,820 | 11,013 |
| 純資産合計 | <u>82,401</u> | <u>94,219</u> |
| 負債純資産合計 | <u>323,025</u> | <u>322,103</u> |

【訂正前】 (過年度決算短信 7 ページ)
(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

| | 当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 221,921 |
| 売上原価 | <u>212,563</u> |
| 売上総利益 | <u>9,357</u> |
| 販売費及び一般管理費 | <u>11,029</u> |
| 営業利益 | <u>△1,672</u> |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 150 |
| 受取配当金 | 255 |
| 鉄屑売却益 | 479 |
| デリバティブ評価益 | 134 |
| その他 | 247 |
| 営業外収益合計 | <u>1,267</u> |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,469 |
| 為替差損 | 472 |
| 持分法による投資損益 | <u>434</u> |
| その他 | <u>551</u> |
| 営業外費用合計 | <u>2,493</u> |
| 経常利益 | <u>△2,897</u> |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 |
| 特別利益合計 | <u>0</u> |
| 特別損失 | |
| 減損損失 | 4,004 |
| 特別損失合計 | <u>4,004</u> |
| 税金等調整前四半期純利益 | <u>△6,901</u> |
| 法人税等 | <u>932</u> |
| 少数株主利益 | <u>1,262</u> |
| 四半期純利益 | <u>△9,096</u> |

【訂正後】 (過年度決算短信 7 ページ)
(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

| | 当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 221,921 |
| 売上原価 | <u>212,656</u> |
| 売上総利益 | <u>9,265</u> |
| 販売費及び一般管理費 | <u>9,889</u> |
| 営業利益 | <u>△624</u> |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 150 |
| 受取配当金 | 255 |
| 鉄屑売却益 | 479 |
| デリバティブ評価益 | 134 |
| その他 | 247 |
| 営業外収益合計 | <u>1,267</u> |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,469 |
| 為替差損 | 472 |
| その他 | <u>986</u> |
| 営業外費用合計 | <u>2,928</u> |
| 経常利益 | <u>△2,285</u> |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 |
| 特別利益合計 | <u>0</u> |
| 特別損失 | |
| 減損損失 | 4,004 |
| 特別損失合計 | <u>4,004</u> |
| 税金等調整前四半期純利益 | <u>△6,288</u> |
| 法人税等 | <u>896</u> |
| 少数株主利益 | 1,262 |
| 四半期純利益 | <u>△8,447</u> |

【訂正前】 (過年度決算短信 8 ページ)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成 19 年内閣府令第 64 号。)に基づいて作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、平成20年12月25日実施の過年度決算訂正後において、平成 18 年 3 月期に12,194百万円、平成 19 年 3 月期に33,176百万円、平成 20 年 3 月期に12,622百万円、平成 20 年 9 月第 2 四半期累計で9,096百万円の四半期(当期)純損失を計上しております。また、四半期連結財務諸表提出会社の個別財務諸表における 2 期連続の営業損失計上により、シンジケート・ローン(平成 20 年 9 月末残高 10,000 百万円)について財務制限条項に抵触しております。また、連結子会社であります株式会社フタバ伊万里のシンジケート・ローン(平成 20 年 9 月末残高 11,000 百万円)についても純資産を基準とする財務制限条項に抵触しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義が生じております。

四半期連結財務諸表提出会社において財務制限条項に抵触しているシンジケート・ローンにつきましては今後直ちに借り換えの正式協議に入りますが、主取引金融機関からは、緊急融資枠の確保など支援体制を布いていただいております。また、連結子会社であります株式会社フタバ伊万里において平成 20 年 3 月末に財務制限条項に抵触いたしましたシンジケート・ローンについては平成 20 年 11 月 28 日に変更契約書を締結することにより解消しておりますが、変更後の財務制限条項についても平成 21 年 3 月期において抵触する虞が高い状況にあります。そのような状況から、銀行借入金の借り換えや新株引受権付社債の償還など資金需要を控えておりますが、各取引金融機関から継続的な支援方針をいただいております。

当社グループは、過年度決算訂正の原因となった状況を改善するために、トヨタ自動車株式会社より社外顧問及び経理担当役員の人材支援をいただきマネジメントと経理部門を強化し、また、内部監査室の充実など社内管理体制の強化を図っております。業績改善のため施策といたしましては、材料費や労務費・経費などの細部に亘る原価低減や既存製品の受注活動及び新規商品の育成・拡販を柱とする再生のための中期経営計画を策定し、同計画に沿って早期の業績回復を図っております。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

【訂正後】

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成 19 年内閣府令第 64 号。)に基づいて作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、平成21年5月29日実施の過年度決算訂正後において、平成 18 年 3 月期に13,096百万円、平成 19 年 3 月期に33,827百万円、平成 20 年 3 月期に13,061百万円、平成 20 年 9 月第 2 四半期累計で8,447百万円の四半期(当期)純損失を計上しております。また、四半期連結財務諸表提出会社の個別財務諸表における 2 期連続の営業損失計上により、シンジケート・ローン(平成 20 年 9 月末残高 10,000 百万円)について財務制限条項に抵触しております。また、連結子会社であります株式会社フタバ伊万里のシンジケート・ローン(平成 20 年 9 月末残高 11,000 百万円)についても純資産を基準とする財務制限条項に抵触しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義が生じております。

四半期連結財務諸表提出会社において財務制限条項に抵触しているシンジケート・ローンにつきましては今後直ちに借り換えの正式協議に入りますが、主取引金融機関からは、緊急融資枠の確保など支援体制を布いていただいております。また、連結子会社であります株式会社フタバ伊万里において平成 20 年 3 月末に財務制限条項に抵触いたしましたシンジケート・ローンについては平成 20 年 11 月 28 日に変更契約書を締結することにより解消しておりますが、変更後の財務制限条項についても平成 21 年 3 月期において抵触する虞が高い状況にあります。そのような状況から、銀行借入金の借り換えや新株引受権付社債の償還など資金需要を控えておりますが、各取引金融機関から継続的な支援方針をいただいております。

当社グループは、過年度決算訂正の原因となった状況を改善するために、トヨタ自動車株式会社より社外顧問及び経理担当役員の人材支援をいただきマネジメントと経理部門を強化し、また、内部監査室の充実など社内管理体制の強化を図っております。業績改善のため施策といたしましては、材料費や労務費・経費などの細部に亘る原価低減や既存製品の受注活動及び新規商品の育成・拡販を柱とする再生のための中期経営計画を策定し、同計画に沿って早期の業績回復を図っております。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

【追加情報】

当社の子会社である株式会社ビジネスデザイン研究所に対する不正融資に関連して、当社従業員は平成 19 年 11 月 26 日に、50 枚の手形用紙を持ち出し、取引の裏づけのない融通手形 1,500 百万円(300 百万円×5 枚)を無断で発行して回収後廃棄処分し、未使用分の 45 枚の手形用紙についても廃棄処分したと供述しており、発行済の手形については、現在公示催告の申し立てを行っております。

以上のとおり、当時の状況、本人の供述などを総合的に勘案いたしました。当該従業員が使用済み手形および未使用の手形用紙を処分したという供述について一定の信用性は認められるものの完全に処分されたとの確証は得られず、万が一手形の所持人から届出があった場合の当社の損害を見込むことが不可能なため、その影響を連結財務諸表に反映しておりません。

【訂正前】 (過年度決算短信 9 ページ)

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

| | 自動車等 車両部品事業 (百万円) | 情報環境 機器部品事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 213,217 | 8,703 | 221,921 | — | 221,921 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 213,217 | 8,703 | 221,921 | — | 221,921 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △2,047 | 375 | △1,672 | — | △1,672 |

【訂正後】

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

| | 自動車等 車両部品事業 (百万円) | 情報環境 機器部品事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 213,217 | 8,703 | 221,921 | — | 221,921 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 213,217 | 8,703 | 221,921 | — | 221,921 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △990 | 366 | △624 | — | △624 |

【訂正前】 (過年度決算短信 10 ページ)

[所在地別セグメント情報]

当第 2 四半期連結累計 (会計) 期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 148,340 | 26,099 | 26,696 | 20,784 | 221,921 | — | 221,921 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,173 | 0 | 1 | 319 | 11,494 | (11,494) | — |
| 計 | 159,513 | 26,100 | 26,697 | 21,104 | 233,416 | (11,494) | 221,921 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △5,926 | 602 | 1,082 | 2,492 | △1,749 | 77 | △1,672 |

【訂正後】

[所在地別セグメント情報]

当第 2 四半期連結累計 (会計) 期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 148,340 | 26,099 | 26,696 | 20,784 | 221,921 | — | 221,921 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,173 | 0 | 1 | 319 | 11,494 | (11,494) | — |
| 計 | 159,513 | 26,100 | 26,697 | 21,104 | 233,416 | (11,494) | 221,921 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △4,870 | 602 | 1,082 | 2,492 | △693 | 68 | △624 |